呼吸器外科

部長　森山　重治、穴山貴嗣

呼吸器外科のご紹介

呼吸器外科は 2018 年 3 月に山本　彰先生が退職されて以来常勤医は不在でしたが、2020 年 4 月に森山重治が新たに呼吸器外科部長として再開することになりました。森山は岡山大学第 2 外科（現呼吸器・乳腺内分泌外科）講師を経て 1995 年 1 月に岡山赤十字病院に赴任して呼吸器外科を立ち上げ、25 年間勤務して岡山大学臨床教授を拝命し、定年退職する最後の 3 年間は副院長も務めました。岡山赤十字病院では 1995 年に着任時から国内でいち早く肺癌に対する胸腔鏡手術を導入し、胸腔鏡下解剖学的肺切除手術（肺葉・区域切除）は 1500 例以上の実績があり、国内で呼吸器外科分野における鏡視下手術をリードしてきました。肺癌、縦隔腫瘍、自然気胸はほぼ 100%胸腔鏡下に低侵襲な手術を行っています。肺癌の場合、手術の傷は切除肺を取り出すための 3cm の小開胸と 1.5cm のポート孔が 2 カ所です（図 1）。肺癌の胸腔鏡下手術の入院期間は中央値で 5 日（術後 3 日目退院）、平均値で 8.9 日でした（表 1）。胸腔鏡手術は低侵襲なため、術後の合併症が少なく、日常生活や社会生活への復帰が早く、術後疼痛が少なく、呼吸機能が温存されることが森山らの臨床研究で証明されています。

また、呼吸器外科はこれまで森山一人でしたが、2022 年 4 月 1 日から高知大学医学部 病院教授の穴山貴嗣先生が呼吸器外科部長として着任しました。穴山先生は高知大学医学部で呼吸器外科の診療科長として大学の呼吸器外科の臨床・研究を指導し、若い呼吸器外科医を育成してこられました。当院にはまだロボットは導入していませんが、穴山先生はロボット手術のプロクターの資格を有しており、当院に着任後も日本全国の他施設での手術指導も行っています。当院がロボットを導入したときは即実施可能な体制があります。

森山の岡山赤十字病院での鏡視下手術の豊富な経験と穴山の最新の呼吸器外科診療を高知県の皆さんに広く役立てていただけるよう努力していく所存です。相談でも結構ですので、症例がありましたら是非ご紹介のほど宜しくお願いいたします。

手術実績

2022 年 1 月から 2022 年 12 月までの手術症例数を示します。102 例のうち 1 例が肺動脈形成を伴うため開胸手術でしたが、101 例が鏡視下手術でした。2020 年は 54 例、2021 年は 87 例でしたから、2020 年 4 月に呼吸器外科が再開して 3 年で症例数が飛躍的に増加しました。

疾患	術式	症例数
原発性肺癌	部分切除	14
（全て完全胸腔鏡下）	区域切除	10
	葉切除以上	31
転移性肺腫瘍	部分切除	2
（全て完全胸腔鏡下）	区域切除	0
	葉切除以上	0
原発性自然気胸	完全胸腔鏡下	8
続発性（難治性）気胸	完全胸腔鏡下	7
血気胸	完全胸腔鏡下	1
手掌多汗症	完全胸腔鏡下	3

縦隔腫瘍	完全胸腔鏡下	5
縦隔膿瘍	完全胸腔鏡下	1
術後肺瘻	完全胸腔鏡下	2
急性膿胸	完全胸腔鏡下	4
肺・縦隔リンパ節生検他	完全胸腔鏡下	14
合計		102

表 1　手術症例数（2022 年 1 月～2022 年 12 月）

図 1 胸腔鏡下肺癌手術の手術創

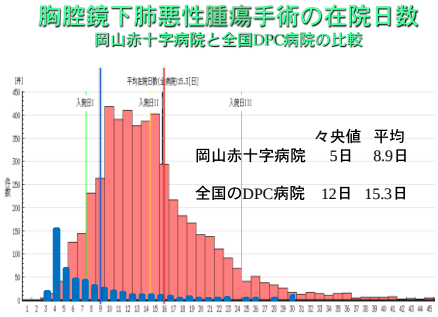

図 2 在院日数の全国 DPC 病院との比較

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
前縦隔に対するロボット支援呼吸器外科手術 ～単一施設における術式別の比較検証～	穴山貴嗣	第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会	5 月 20 日 東京
両側胸腔アプローチによるロボット支援拡大胸腺摘出術; 他アプローチとの比較	穴山貴嗣	第 35 回日本内視鏡外科学会総会	12 月 9 日 名古屋

講演

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
「RATS 様々な術式にみるロボット活用の利点」	穴山貴嗣	第 2 回 Lung Cancer Surgery and Medication	3 月 17 日 web

座長

		学会名	開催
座長	穴山貴嗣	第 75 回高知県医師会医学会	8 月 22 日 高知

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
自然気胸と気象条件に関する全国多施設共同研究結果報告	宮原尚文、森山重治、他	日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌 Vol.22	2022:22:7-12